

カラムシ (唐むし)

名前の意味^{いみ}：中国 (唐) からやってきた「むし」の意味。むしはこのなかまの古くからの名前 (大和言葉^{やまとことば}) で昆虫のことではない

分類：双子葉類、イラクサ科、ヤブマオ属

好きな場所：日当たりのよい道ばたや林の縁^{へり}

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴^{うら}：裏に白い毛の生えたスぺード型の葉、金平糖^{こんぺいとう}をつなげたように花がつらなっている。

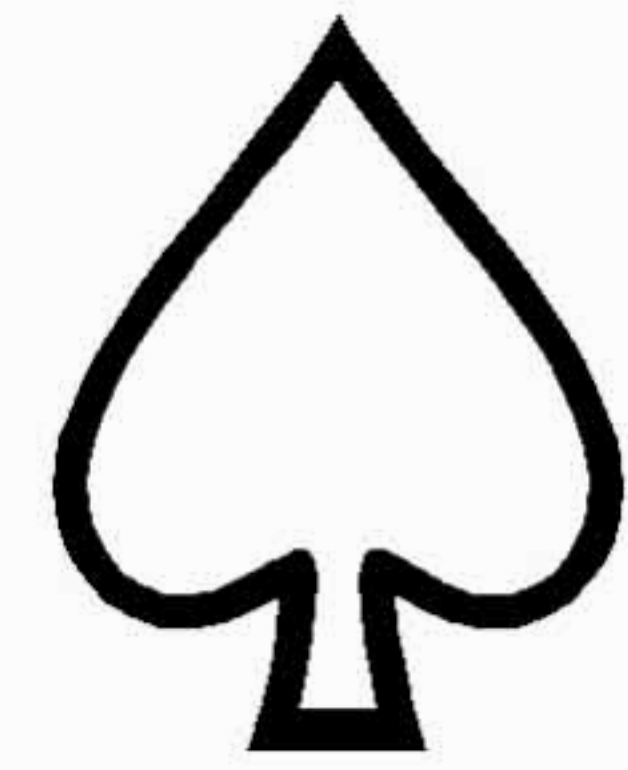
種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、4裂^{れつ} (小さくてよくわからない)

花の時期：8 - 9月

食べ方：食べない

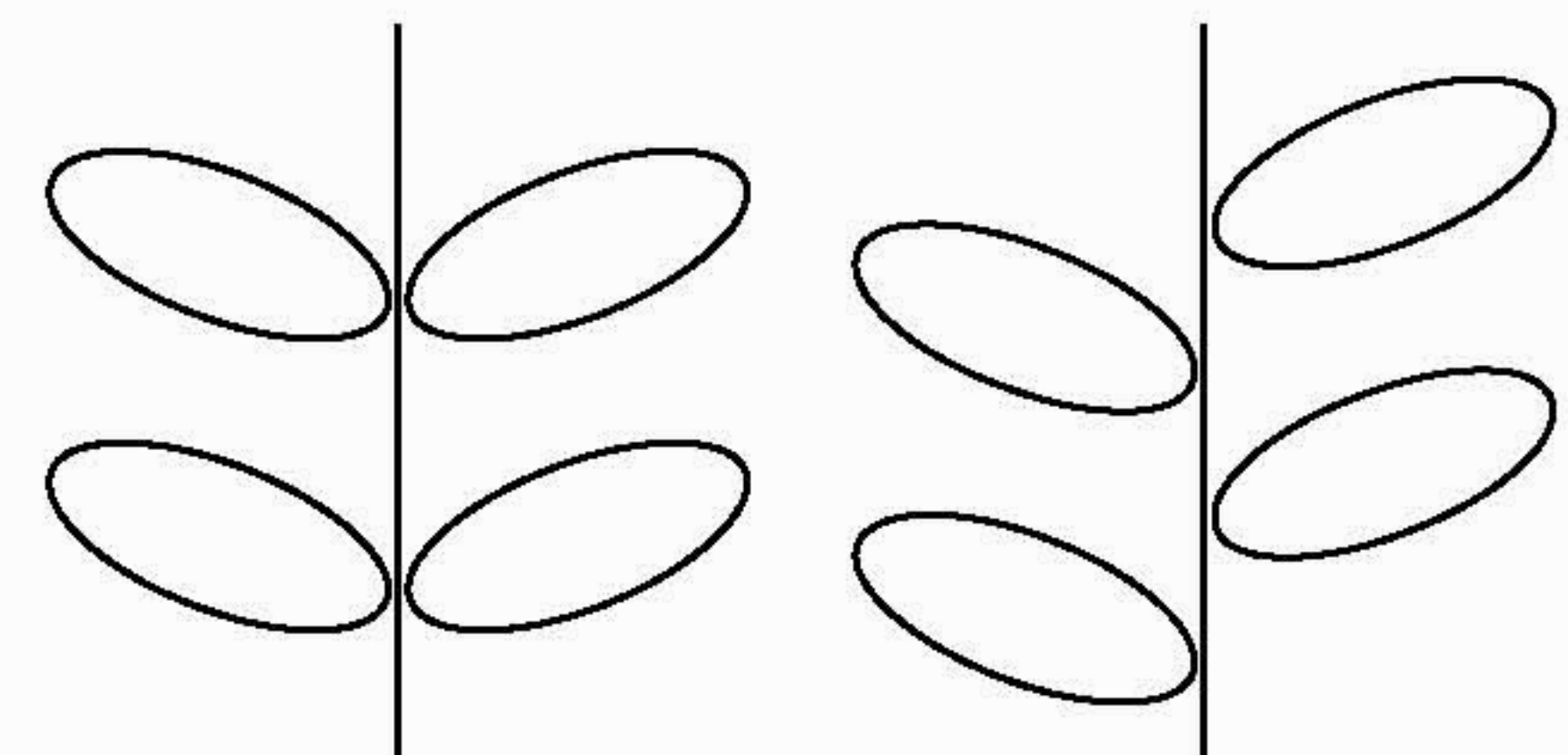
見分け方：ヤブマオとは、葉が互生すること (ヤブマオは対生)、葉の裏が白い毛^{おお}で覆われていることで区別できる。



スぺード



こんぺいとう
金平糖



たいせい
対生

ごせい
互生

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)